学校番号	３１３

令和３年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ Ⅱ」　（教育芸術社出版）						
副教材等	NEW MUSIC NOTE　（教育芸術社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」「音楽を理論的に考える」「音楽を全身で表現する」の５つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技試験で評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が生涯にわたって、心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたって音楽を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創意の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート	学習状況の観察 ワークシートの記述 演奏の聴取 レポート	学習状況の観察 ワークシートの記述 演奏の聴取	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	作詞作曲をしよう	【創作】 作詞作曲	○	○			a:自ら湧き出てくるイメージや感情等に文字と音をつける。音楽を生み出す喜びをもって主体的に取り組んでいる。 b:音、歌詞の持つ働きを感受しながら、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取
		【歌唱】 Winding Road (混声3部合唱) 虹 (混声3部合唱)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能(発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけ、協力し合い創造的に表している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取
	ミュージカルのファーストステップ	【創作】 歌詞を作り替え、演出をつけてのミュージカル	○	○	○		a:グループで意見を出し合って歌詞を作り替え、さらに演出をつける。歌詞や演出を入ると観客がどう見えるのか、感じるのかを考えながら主体的に協力的に取り組んでいる。 b:音、歌詞の持つ働きを感受しながら、どのように音楽や動作をどうするかについて表現意図を持っている。 c:創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱、創意の技能を身につけ、創造的に表している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取

	音を聞き取る耳をさらに鍛えよう	【ソルフェージュ】 ハ長調による聴音 単音 2和音(不協和音含む) 旋律	○			○	a:ピアノによる単音、和音、旋律の音の特質に関心をもって、聴音をする学習に主体的に取り組もうとする。 d:音の持つ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら音楽に対する理解を深める。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート
	音楽理論を深めて理解しよう	【楽典】 音楽Ⅰの復習 調性(短調を含む全調)	○			○	a:音の名称、音程、調性という音楽には無くてはならない音楽の基礎的知識を深める学習に主体的に取り組もうとする。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深める。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取

後期	混声、同声のそれぞれの特質を理解し、ハーモニーを味わおう	【歌唱】 証 (混声4部合唱) 翼をください (同声2部合唱)	○	○	○		a:曲想と文化的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、混声、同声の違い、特質を理解し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能(発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけ、協力し合い創造的に表している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取

	演奏時間を伸ばし、前回の創作を踏まえて創作表現を深めよう	【創作】 歌詞を作り替え、演出をし、ミュージカル	○	○	○		a:グループで意見を出し合って歌詞を作り替え、さらに演出をつける。歌詞や演出を入ると観客がどう見えるのか、感じるのかを考えながら主体的に協力的に取り組んでいる。 b:音、歌詞の持つ働きを感受しながら、どのように音楽や動作をどうするかについて表現意図を持っている。 c:創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱、創意の技能を身につけ、創造的に表している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取
	琴を弾こう	【器楽】 開放弦 音階 ぶんぶんぶん(2重奏)	○	○	○		a:我が国や郷土の音階の特徴、琴の基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:イメージをもって合奏するために必要な技能(奏法、姿勢や身体、指の使い方)を身につけ、協力し合い創造的に表している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 演奏の聴取
	鑑賞のステップアップ	【鑑賞】 ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」	○			○	a:総合芸術オペラの特徴に、関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、音楽の持つ意味を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラに対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聞いている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度

b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能
d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。